

先生と保護者とのつながり合い ～保護者との関係づくり 10のスキル～

失敗も成功も含め
私の実践からお話します！



名城大学 曾山和彦

2018.1.27

スキル1; まず & とにかく聴く



あの人が頷くだけで出る勇氣

教育センターの相談担当指導主事だったときに、保護者Aさんから、かけられた言葉

「先生はいつも私の話を丁寧に聴いてくださった。いっさい私の考えを否定することなく優しく聴いてくださったことで、どれだけ私は救われたか・・・」

スキル2; 「一緒に考えましょう」の一言

教師の一言は
影響力大！



構えずに話を聴く

ある雑誌の企画で行った私と保護者による対談で、保護者Bさんから、伝えられた言葉

「私たち保護者は、我が子のことについて最初から『自閉症？ パニックを起こすのでは？』等のように構えられてしまうと悲しくなる。ただ話を聴いてほしい。『お母さん、一緒に考えましょう』と言ってほしい。その一言で、先生を信じることができる」

3

スキル3; 手柄を全て保護者に返す

保護者を追い詰めない



手柄とは、「子どもの成長、変化」

<負のスパイラル例>担任:「(保護者に)忘れ物が多いので、朝、一緒に確認をお願いします」と伝える →

<正のスパイラル例>担任:「(保護者に)この頃、勉強をよく頑張っています。お母さんがお忙しい中、宿題を見てくださっているからですね」 →

* 子どもの成長、変化は、私たち教師の「手柄」であることが多い。その「手柄」の全てを保護者に返すと、やがて「大手柄」が返ってくる

4

スキル4; エンプティスクリーンであれ

保護者を「大好き」「大嫌い」に
ならないこと



- 感情転移; 父、母、兄弟等に対する感情を類似の人に向けること。例: 父親を憎んでいる人が、その感情を教師やカウンセラーに向ける。
- 対抗感情転移(逆転移); 感情転移に巻き込まれること。子どもやクライアントが、愛や怒りの感情をぶつけてきたとき、愛してしまう、怒ってしまうこと。

教師やカウンセラーは「白いスクリーン(empty screen)であれ」。感情転移に巻き込まれないように。

5

スキル5; プラスストロークを送る

交流分析もお薦め



- ストローク定義; 他人に対する態度の表現

strookの法則

1. 人はプラスストロークを求めるが、得られないときはマイナスストロークを求める
2. プラスストロークを人に与えるほど、やがて、それが自分に返る(プーメラン効果)

6

「メタ認知」とも

スキル6; アナザーセルフを起動する

もう一人の自分で、自分の言動をチェックする

あなたが保護者として、担任から次のように言われたら

・「お子さんは発達障害だと思います。早めに病院で受診をしてください」と言われたら…

7

悩み深き保護者の支えに

スキル7; サバイバルクエスチョン

今まで大変なことばかりでした
もう何をしてもダメです

大変な中で、よく頑張ってきましたね
何が支えになっていたのですか？
(リソースへの気づき)

8

不登校支援に効果

スキル8; スケーリングクエスチョン

学校に元気に通えていた時期を10点とすると
今は何点くらいですか？

3点くらいでしょうか

0点ではなくて3点という、その3点分は
いったい何ですか？(3点の意味を問う)

9

知らないでは済まない!

スキル9; 障害理解 & 法規理解

私は次の言葉をいつも忘れないようにしている。

教育の専門家である教師が、教育を行う子どもについて**無知のまま教壇に立つことは子どもに失礼極まりない**(杉山)

せめて「**自閉症だった私へ**」等を読んでほしい

教育センターの相談担当指導主事だったときに、保護者Cさんから、かけられた言葉

「うまく指導してもらえなくてもいい。でも、子どものことは理解してほしかった。」

障害者差別解消法も既に動いています!

10

何故、障害理解が大切なのか ～ある少年事件から～

- 少年は、精神鑑定で「**広汎性発達障害**」を指摘されている。
現在は、「**自閉症スペクトラム障害**」
- 広汎性発達障害の人は、言葉の意味をそのまま受け取ってしまうことがある(字義性)。少年は父親から、「もう一回嘘をついたら殺す」と言われていた。テストの得点で嘘をつき、本当にばれたら殺されると思ってしまった。

障害が問題や事件を起こすのではない。周囲の理解・対応の不十分さが、問題や事件の呼び水になりやすい。

障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律(障害者差別解消法 2013.6月成立)

- 差別的取扱いの禁止(法定義務)
- 合理的配慮不提供の禁止(国・地方公共団体等は法定義務)

基礎的環境整備のもとに

2016.4月施行
特に、学校生活の様々な場面における「合理的配慮」に関する校内整備が必要。保護者の声に応えるために…

「推進」の要は**特別支援教育コーディネーター**。管理職との「**タッグ**」を組んで!

12

ASDへの基本支援

発達障害理解により「合理的配慮」が見えてくる

- 視覚情報の活用 ← フォトグラフィックメモリー
- 一度にひとつ ← 短期記憶の弱さ
- 予定の伝達 ← 見通しのもちにくさ
- 肯定的表現 ← 苦手な禁止、注意
- 文化に寄り添う
 - ◇ 感覚の過敏性 (例) 触覚、聴覚、視覚、嗅覚、味覚等
 - ◇ 字義性 (例) 真っ直ぐ家に帰るのよ → あそこの角を曲がらないと帰れないよう～

「文化に寄り添う」以外は全てユニバーサル支援でもあり

スキル10; 援助希求; 抱え込まない

周りに「助けて!」と言えますか?

「助けて!」と言える関係づくり

- 人は自分が孤立していると思ったとき、生きる意欲を失う。自分にとって大切な意味をもつ「何か」「誰か」との「つながり」を感じるとき、生きる意欲が湧き上がる (諸富祥彦)
- 人は、依存すべき時には依存し、そのことを認識し、感謝することによって自立する (河合隼雄)

演習; つながり地図 (大竹直子)

まとめ; 1日頑張った自分にエール

一番の応援者は自分であれ!

- 自分が幸せでなければ、周りを幸せにはできない
- 他者からのプラス評価は、幸せに直結!

私たちにも、子どもたちにも最高の演習!

いいとこ四面鏡

拙著紹介 「気になる子」シリーズ (教育開発研究所)

全国各地の「仲間」と創り上げた本です!

優しい色合いの表紙も私のお気に入り

親から子へ かかわりの糸を結ぶ21の言葉 (文溪堂)

拙著紹介

今、私が一番創りたかった本… 「先生方の応援者」であることに加え、「保護者の応援者」にもなりたくて書き上げた本です!

このタイトルで多くのPTA講演もお受けしています!

私の応援メッセージが届きますように